

INTERNET  
YELLOW  
PAGES

199809



# INDEX

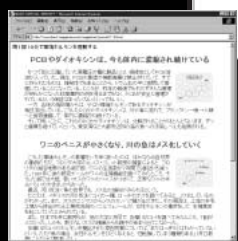
インターネット

# YELLOW

- 特集「健康について考えよう」
- 夏バテの前に健康チェック
- 静かなる脅威!環境ホルモン
- 今月のWHAT'S NEW!!
- COOL SITE 55

梅雨も明けて、夏真っ盛り。ビールがうまい季節になった。とはいうものの、記録的な暑さが続いて、すでに疲れ気味の人も多いのでは? 仕事も遊びもいいたいけれど、こんなときこそインターネットで情報を集めて、健康で楽しい夏を過ごそう!

海へ、山へ、得意先へと(?)暑い中を動き回る毎日。疲れから思わぬ病気にかかるとは大変だ。健康、医療関連のサイトで自己チェックと予防をして、暑い夏を乗り切ろう!



# 特集

## 「健康について考えよう」

夏バテや食中毒だけでなく、「環境ホルモン」にも注意したい今年の夏。健康に関する話題も目につくようになった。こんなときこそインターネットで情報を集めよう。

# 1998 HEALTH SPECIAL

特集「健康について考えよう」

夏バテの前に健康チェック

静かなる脅威! 環境ホルモン

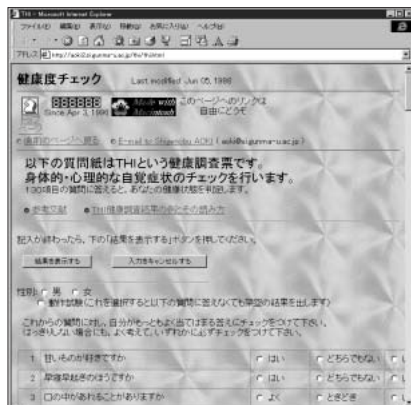
真夏に見直す自分の体調

## 夏バテの前に健康チェック

今年も暑い夏がやってきた! 日常生活をしていても体力を消耗するうえに、休日は出かけることが多く体調を崩しやすくなる季節だ。そうなる前に自製の意味も込めて、健康関連のチェックをしよう。(小林千寿)

### Health Scramble

<http://www.health.co.jp/>



#### 健康に関する情報ナビゲーター

健康や保健、医療、医薬などに関する情報が多く集まっている。健康インフォメーションの「風邪」については、西洋・東洋医学、民間療法のあるゆる側面から紹介してあるので役に立つと同時に楽しい。健康チェックではいくつかの質問に答えると自分の体の年齢がわかる。チャレンジウォークでは、毎日のウォーキングを楽しくするために、万歩計で計測した歩数を入力して仮想のウォーキングコースを進むことができる。チャレンジダイエットでは、過去7日間の3食の食事の状況を入力することで最適なダイエットライフを提案してくれる。

### みんなの健康

<http://www.banyu.co.jp/>



#### 生活習慣病にならないために

近年、いわゆる成人病は「生活習慣病」と呼ばれている。日常生活の中で誰もが潜在的に抱えている生活習慣病にはどんなものがあるのかや予防手段を紹介している。若年層の肩こり1つとつても、日頃から「正しい姿勢」や「簡単な体操」などを実践することで、かなり予防することができる。また生活習慣病には、食事などが原因になって起きるものもある。気になる症状や病気が出てきたら、医師の治療を受けながら、食事や生活リズムを直すとともにスムーズに体調が回復するはず。ここでは、症状別に必要な栄養素と実際の調理メニューも紹介している。

## サイバーDr.リンクサイト http://www.dik.co.jp/wa/ww/dr/



### 直感的な医療リンク集

症状が出ている場所から可能性のある病状を絞り込んでいくと、最終的に対処方法を提示してくれる「どうしました?」や、話題の病気や必要なカロリー、肥満度を調べることができる健康チェックを紹介している「気をつけて!」など4つのカテゴリーに分かれており、自分が今必要としている医療情報を探し当てることができる。

## メディネット大樹おきなわ http://www.okinawa.med.or.jp/ippan/menu1.htm



### 健康歳時記

多数の方が健康をテーマに書いている健康歳時記。さまざまなテーマが取り上げられており、「夏ばて民間療法」や「日射病、熱射病」といったこれからの季節にバッチリの内容から、「子供の健康と伝統」や「単身赴任者の心の健康」といった、心身一体の歳時記が健康歳時記パート2と合わせて200件以上ある。

## 元気でVIVRE 家庭の医学 http://www.so-net.or.jp/vivre/



### 日頃の行いを見直す

健康に関する情報を提供しているこのサイト。ヘルシーアンサーでは、エイズから歯の磨き方まで、症状ごとに個々の対処方法などが紹介されている。また、日常生活を健康に維持するために欠かせないダイエットでは、栄養学や栄養摂取量の検索ができる。また、運動や禁酒・禁煙では「俺は禁煙するぞ!」と伝言板で宣言ができるスペースがあり、1人でがんばるよりも、励みになるかもしれない。

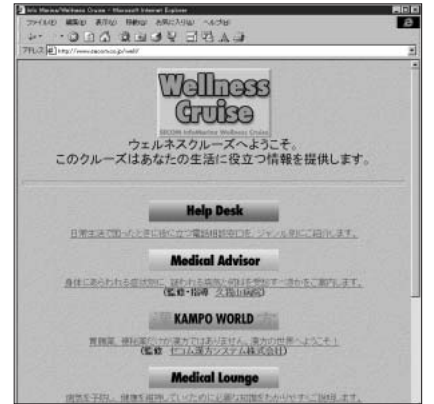
## 沖縄県健康食品協議会 健康の秘密 http://www.okinawa-ric.or.jp/virtualtown/oks/health/



### 暑いときにはこの野菜

野菜の頑固王「ゴーヤー」は、日本一の長寿県である常夏の島、沖縄を代表する健康食品だ。日本では沖縄県以外にはほとんど食べる習慣のないゴーヤーだが、他のアジア各国ではよく食べられている。ここではゴーヤーの紹介やゴーヤー類、ゴーヤージュースといった変わった商品も紹介されている。苦みの中に暑さを忘れさせてくれる何かがあるのかもかもしれない。

## Wellness Cruise http://www.secom.co.jp/well/



### 「!?」と思ったらこのサイト

安心して日常生活を過ごすためにセコムが開設した情報サイト。病気を予防して、健康を維持するために必要な知識を紹介している。体調が悪くなってしまった場合は、症状により疑われる病気と何科を受診すべきかを教えてくれるメディカルアドバイザー。健康だけでなく、生活全般についての問い合わせ先を調べることができるヘルプディスクが便利だ。

## Online 健康チェック http://kenko.cplaza.ne.jp/



### 夏バテに負けないために

BIGLOBE 会員向けの健康チェックサービスなので、健康チェックは会員以外ではできないが、Topicsについては誰でも読むことができる。一言で「夏バテ」と言っても、日射病や不眠、疲労、食欲不振、冷房病など原因はさまざま。それでは予防するにはどうしたらよいか、などを知ることができる。この時期、食中毒も多くなるので、同様にチェックしておくとういだろう。

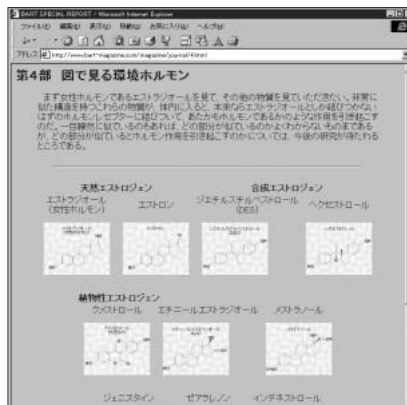
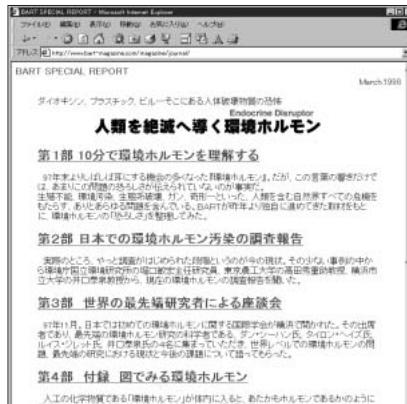
1 9 9 8  
H E A L T H  
S P E C I A L

# 静なる脅威！環境ホルモン

すでにニュースやワイドショーではおなじみの環境ホルモン。ダイオキシンに代表される、最近注目されているこの毒性物質について、インターネット上で入手可能な最新の情報を紹介する。  
(小林千寿)

## 人類を滅亡へ導く環境ホルモン

<http://www.bart-magazine.com/magazine/journal/>



### 10分でわかる環境ホルモン

環境ホルモンをまったく知らない人でも、ここから読み始めれば、その概要と重要性を把握することができる。雑誌「BART」の取材により作成されているサイトで、情報量は多いとはいえないが、今何が起りつつあるかが読みやすく紹介されている。「環境ホルモンの理解」「日本での汚染調査報告」「最先端研究者による座談会」「環境ホルモンの構造」の4部から構成されている。現在の日本でも確認されているベニスの付いたメスの巻き貝イボニシの写真や、ワニのインボセックス化などについて解説されており、動物界ではすでに異常な現象が発生しているのがわかるだろう。

## ダイオキシンおもちゃキャンペーン

[http://www.nets.or.jp/GREENPEACE/library/98dio/dio\\_index.html](http://www.nets.or.jp/GREENPEACE/library/98dio/dio_index.html)



### めげせ！脱・塩ビ

身近な環境ホルモン問題として、必ず出てくるのがダイオキシン。特に小型焼却炉などから排出されるダイオキシンが問題とされている。ダイオキシンは塩化ビニルを製造、焼却するときや、子供のおもちゃなどとして使っている間も有害物質を放出している。国際環境保護団体のグリーンピースではこの事実を重大にとらえ、有害な塩化ビニル製品かどうかの確認作業として「おもちゃキャンペーン」を実施した。現在集計作業中だ。消費者からの草の根的な活動かもしれないが、このような活動の積み重ねで意識が高まると同時に安全が守られる側面があるので、今後がんばってほしい。

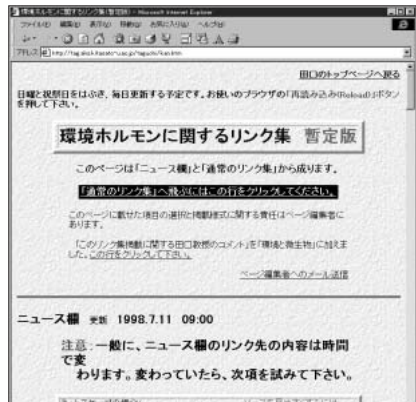
特集「健康について考えよう」

夏バテの前に健康チェック

静かなる脅威！環境ホルモン

### 環境ホルモンに関するリンク集 暫定版

http://tag.ahs.kitasato-u.ac.jp/taguchi/kan.htm

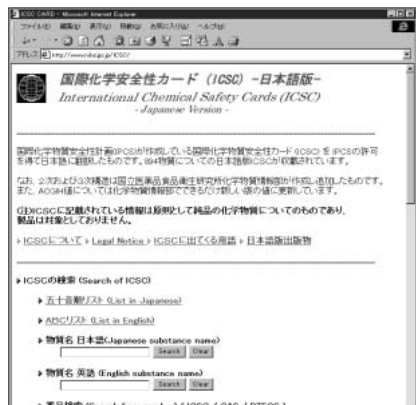


#### 最新動向はこのサイトでチェック!

毎日のように伝えられる環境ホルモンに関するニュースの動向をいち早くキャッチできる。1日に10件を超えるウェブ上の環境ホルモン関係ニュースがリンクされ、休日を除く毎日更新されているので、内容の充実している。注意したいのは、新聞社関係のウェブが多いため、日にちが経つとURLが変わって記事が読めなくなってしまう点だ。

### 国際化学安全性カード(ICSC) - 日本語版 -

http://www.nihs.go.jp/ICSC/



#### 化学物質を調べる

素人には名前だけ聞いてもいったいどんなものか、予想もつかない化学物質。ここでは化学物質の名称から検索することができ、基本的な化学物質の物性や科学的危険性(火災、爆発、人体への暴露)や万が一漏洩してしまった場合の処理方法や人体への応急処置方法などを見ることが出来る。情報は純品の化学物質について、894種類が掲載されている。

### 環境庁の対応方針について

http://www.eic.or.jp/eanet/end/endindex.html

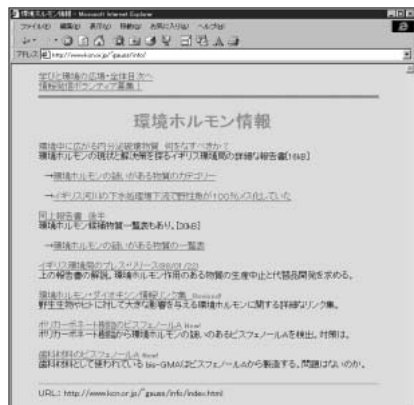


#### いったい、環境庁の取り組みとは?

1998年5月に環境庁から発表された、環境ホルモン戦略計画SPEED'98。1997年3月に設置された「外因性内分泌攪乱化学物質問題に関する研究班」を中心として、現時点での環境ホルモンについての環境庁の基本的な考え方と今後の具体的な対応の方針を示したもの。環境ホルモンはいまだ未知の部分が多いため、残念ながら明確な結論は出ていない。

### 学びと環境の広場(環境ホルモン情報)

http://www.kcn.or.jp/~gauss/info/



#### 増え続ける環境ホルモン

イギリス環境局との意見交換のための報告書の日本語訳では、環境ホルモンの全体的な報告から、特定の化合物ごとに対する状況の確認と対策、今後の研究指針、そして結論と方向性が見出されている。このほか現在注目している歯科材料のビスフェノールAのニュースや考察が紹介されている。リンク集は物質ごとに分類されて特定物質の調査が行いやすい。

### 『環境ホルモン』総合リンク集

http://www.ktx.or.jp/~kenkou/link/linkedc.html

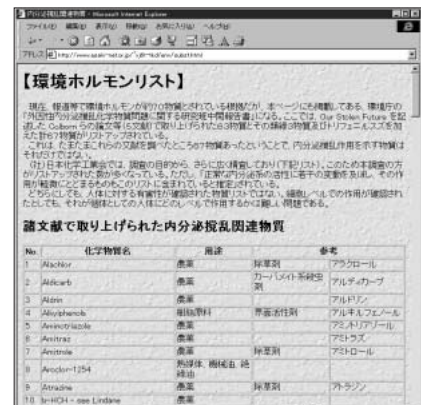


#### 環境ホルモンの何を知りたい?

環境ホルモン関連のサイトを「何を知りたい!」といった目的別で紹介している、ウェブサイトのリンク集。環境ホルモンの基礎知識や毎日の報道、全国のダイオキシン測定分析機関の一覧、資料文献といった資料的なものから、市民活動や企業努力、NGO活動といった活動紹介サイト。はたまた環境ホルモン過剰報道への反論といった関連情報の多くを調べることができる。

### 環境ホルモンリスト

http://www.asahi-net.or.jp/~xj6t-tkd/env/subst.html



#### 今わかっているだけで約70物質

人間が作り出した化学物質は1000万種類とも言われているが、環境ホルモンと言われているのは約70物質。用途は殺虫剤やペンキ、樹脂原材といったものから、直接口に入る食品添加物やビールといった薬も名を連ねている。ここにリストアップされているもの以外に未確認のものもあると言われている。今後のさらなる調査に期待したい。

# WHAT'S NEW 9 8 0 9

新着ページの中でも特におもしろいページを紹介するこのコーナー。今月も、懐かしのスターのプロマイドからヨットレースまで盛りだくさんの内容でお届けしよう。

## PINKA HAPPY COME COME

<http://netnavi.nikkeibp.co.jp/pinka/>



### 【 かわいいイラストが お楽しみ情報をご案内 】

フジテレビのマスコットキャラクター、イラストのPINKAがインターネットに登場。PINKAやその仲間たち、制作者の紹介、アニメーションビデオや最新情報がぎゅっしり詰まっております。ホームページ上からPINKAを使った暑中見舞いのカードを送ることもできる。テレビや音楽シーンなどのさまざまなエンターテインメントやアート情報、全国のフリーマーケットなどの生活情報もある。夏に向けて全国のビーチ情報を準備中。

## 楽天市場 お中元特集

<http://www.rakuten.co.jp/summer/>



### 【 夏の贈り物もインターネットで! 】

ショッピングモールの「楽天市場」が、お中元特集を8月18日まで開催。全国の名産品の「こだわりギフト」(<http://www.rakuten.co.jp/summer/kodawari.html>)と、有名百貨店が選んだ「特選ギフト」(<http://www.rakuten.co.jp/summer/tokusen.html>)の2本立てだ。取り扱い点数はなんと3000点! 商品名や種類などで検索できる「お中元専用検索エンジン」も用意されているので、効率的に探せる。

## Walkers Net

<http://walkers.channel.or.jp/>



### 【 話題のプレイスポットを チェック! 】

TokyoWalker(東京)をはじめ、横浜、東海、関西、九州の各Walkerのとても便利なオフィシャルホームページ。映画や演劇、ビデオやCDなど12ジャンルから最新情報を地区別に検索できる。増刊号のページでは新宿、渋谷など6つのターミナル駅周辺スポットや東京のカルトショップガイド、関西では明石海峡大橋などの話題のスポットのガイドが充実している。街で遊ぶためには絶対に押さえておきたい。

## 海洋堂 オフィシャルウェブサイト

<http://www.kaiyodo.co.jp/>



### 【 ガレージキットが アートになった! 】

「ときめきメモリアル」などで有名なガレージキット海洋堂のオフィシャルウェブサイトがグランドオープン。内容は、ガレージキット製品とデジタルエフェクトを組み合わせさせたギャラリー「MOKA - Museum Of Kaiyodo Arts」と、今後発売される製品を先行して買える「KMS - Kaiyodo Museum Store」が中心になっている。また、ガレージキットの展示即売会「ワンダーフェスティバル」の情報もあるぞ。

## メイド・イン・トーキョー

<http://www.dnp.co.jp/museum/nmp/madeintokyo/mit.html>



### 【 建築物で感じる不思議な 東京の生態系 】

何かを象徴するという文化的・芸術的な目的を持たず、実利的な目的で造られた東京の建築物。なのに、東京の奇妙な成長のために、いつのまにか東京を鮮やかに浮き上がらせているようになってしまった。このページでは、そんな不思議な東京の建築物を豊富な図解と写真、「建築紙芝居」で詩的に、そしてアーティストックに紹介している。このページを見たあとは、いつもの町並みも新鮮に見えてくるかもしれない。

淀川長治世界クラシック名画100選  
<http://town2.hi-ho.ne.jp/enter1/yodogawa/>



【 懐かしくも美しい名画に心を馳せる 】

「映画は人類が創り出した最高の総合芸術」という映画評論家の淀川長治氏が選んだ名画100選のリストが公開された。タイトル、製作年、国名、監督、主演が掲載されている。そのすべてにではないが、淀川氏のあの語り口の評論が付けられ、その中のキーワードには作品中の一場面の写真を見ることができる。さらに一部のシーンではリアルプレイヤーによる映像まで流れる、映画ファンにはたまらないサイトだ。

HMV | the music master  
<http://www.hmv.co.jp/>



【 最新音楽情報をチェック! 】

全国に展開するミュージックショップ、HMVのホームページ。ニューアルバムのリリース情報はもちろん、HMVグループ各店のCD売り上げを集計したランキング、ジャンル別に掲載されているおすすめCDやビデオの情報は、友人との話題作りに欠かせない。最新ミュージックシーンは、ここですべてが把握できるのだ。また、全国のストアで開催されるインスタ・イベントのスケジュールも、デートの前にチェックしたい。

プロマイドステーション  
<http://www.hi-cara.com/>



【 永遠のスターたちにもう一度逢いたい 】

浅草マルベル堂が撮影した2371人、総数72135枚のスターたちのプロマイドが、インターネットで購入できる! 「永遠のビッグスター」、「ロカビリー&ウエスタン」、「グループサウンズ」、「新旧御三家対決」の4つのカテゴリーか人名検索でスターを選ぶと、プロフィールと参考文献、プロマイドの一覧が表示される。懐かしのスターの雄姿は、自分だけではなく40代以上の父親、母親世代にも見せてあげたい。

ポシュロム・ジャパン・ホームページ  
<http://www.bausch.co.jp/>



【 ホームページオープン記念キャンペーン実施中 】

コンタクトレンズメーカー、ポシュロム・ジャパンがホームページをオープンした。自社のコンタクトレンズやケア用品、レイバンやポリシェのサングラスの商品紹介が中心だ。しかし、コンタクトレンズ利用者向けにその正しい使い方や、これから使い分けが心配するさまざまな疑問に答えるFAQも充実している。9月21日までおバリ旅行が当たるホームページオープン記念キャンペーンも開催している。

MY TOWN MAP コンクール  
<http://www.mytownmap.or.jp/>



【 子供たちの創造力は無限大! 】

「ぼくの町 わたしの村」My Town MAPコンクールのホームページ。単なる記号化した地図ではなく、パソコンを使って作った絵や写真、文章や音楽をミックスした「マルチメディア情報」としての生活地図を、次代を担う子供たちから募集する。「いかに効果的に情報を表現し、情報を発信するか」を実地に体験してもらうわけだ。作品の例として、過去の優秀作も、ホームページで閲覧できるようになる予定だ。

RODNEY SITE IN JAPAN  
<http://launcher.g-search.or.jp/interlink/rodney/>



【 パラッパラッパーのTシャツ?! 欲しい! 】

プレイステーション用ゲームソフト「パラッパラッパー」のキャラクターデザインやボンキーズのアニメーションで人気のアーティスト、ロドニー・アラン・グリーンブラットの作品が楽しめるホームページ。彼のプロフィールから日本で手がけた作品の一覧、イラストを見ることができる。またショップでは、Tシャツや腕時計、マグカップなど、楽しさあふれる彼のキャラクターグッズを購入することもできる。

## 自動車ウェブページ ウェブCG

<http://nigensha.co.jp/webcg/>



### 【 エンスーのための カーマガジサイト 】

欧州の香り漂う大人のカーマガジンCG（カーグラフィック）とNAVIのホームページがオープンした。国内外の自動車関連ニュースやCGの取材裏話は、雑誌の読者ならずとも気になってしまう。目玉は「Digital CAR GRAPHIC」で、1962年創刊のCGと自動車の40年近い歴史のPDFファイルを無料でダウンロードできるのはうれしい。二玄社が発行する自動車関連の別冊や単行本紹介ページもある。

## カーラ・カリーナ

<http://www.so-net.ne.jp/carina/vol01/>

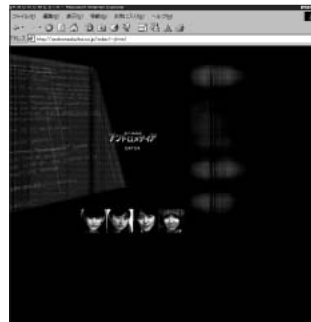


### 【 オンライン総合女性誌創刊 】

女性向けの月刊ウェブマガジンが創刊した。7月号の特集「この夏を快適に過ごす最新テクニック」の「コスメ」では日焼け対策など、「ショップ・レストラン」ではオープンテラスのお店などを紹介している。隔週刊の投稿コーナー「りよんのOL給湯室」や日替わりの占いコーナーなどの連載記事も楽しい。また特集記事には関連したプレゼントも豊富で、季節に合わせたリンク集も充実している。

## アンドロメディア

<http://andromedia.tbs.co.jp/index1-j.html>



### 【 SPEEDの魅力がいっぱい！ 】

大人気のアイドルSPEED主演の映画「アンドロメディア」の公式ホームページ。映画の中の各シーンを、スチールカットを交えたテキストで紹介する「シネマギャラリー・データバンク」や「キャスト紹介」ではスクリーンの中の彼女たちの、「撮影の現場から」では撮影の合間のSPEEDの素顔の魅力に迫ることができる。このページから、プレゼント付きのオリジナル冊中見舞いメールを友達に送ってみよう。

## FORD JAPAN

<http://www.ford.co.jp/>



### 【 アメ車ならやっぱりフォード!? 】

米国自動車業界のビッグ3の1つ、フォードの日本法人の公式ホームページがここだ。基本的な車種紹介やリクルート情報はもちろんだが、時期によってはインターネットユーザーだけを対象にしたお得なキャンペーンも用意されている（執筆時は7月31日までの「アメリカ独立記念日のキャンペーン」を実施中）。1903年に設立されたフォードの100年近い歴史を写真と文章でたどる「ヒストリーブック」も興味深い。

## 不動産物件検索モール

<http://www.justnet.ne.jp/fudosan/index.htm>



### 【 日本全国をカバーする 豊富な情報量が自慢 】

JUSTNETが運営する日本全国の不動産売買・賃貸物件検索サイトがオープンした。売買・賃貸とも全国の沿線・駅と所在地、賃料や間取りなど複数の条件で検索可能。売買物件検索の「ホームナビ」の情報提供会社はなんと74社で、マンション、一戸建て、土地が検索できる。賃貸物件はアパート・マンションだけでなく、駐車場と店舗、倉庫に事務所まで探すことができる。

## Amazon.com Music

<http://www.amazon.com/exec/obidos/subst/home/music.html>



### 【 巨大オンラインブックストアが CDショップを開店 】

世界最大級のオンラインブックストアAmazon.comが、ついに音楽業界に進出！オンラインCDショップを開店した。書店同様、その品揃えも世界最大級だ。お目当てのCDは14に分かれたジャンル別にも検索できるほか、アーティスト名や頭文字、CDのタイトルやタイトルに含まれるキーワード、さらにレーベルでも探すことができる。ヒットチャートやおすすめCDの紹介コーナーのチェックも忘れずに。

## All about Windows98

<http://www.nikkeibp.co.jp/win98/>



### 丸ごとWin98でおながいっぱい!

ウィンドウズ98関連情報だけを集めた、日経BP社BizTechのスペシャルエディションページ。同社が発行する雑誌などに掲載されたニュースをはじめ、インストール前の注意やQ&A、Win95からのアップグレード方法まで掲載している。さらにリンク集ではPCメーカーや新インターフェイス解説のページ、オンラインショップから個人ページまで網羅。7月31日までの限定サイトなので、すぐに駆け込もう。

## ほぼ日刊イトイ新聞

<http://www.1101.com/>



### とりとめもなく楽しい! これっていったい?

タイトルどおり、ほぼ毎日更新される、釣り三昧からお仕事に復活した糸井重里氏とその仲間(だと思う)が展開するキッチンでとりとめもなく楽しいサイト。すべてのスタッフをボランティアで使っちゃうという方針がまたイカス。全体的には個人日記ページのような形に見えるが、そこいら中に無軌道で無駄なパワーがみなぎっているのがうれしい。もう、どのコーナーでもいから早くアクセスしてくれ!

## 亜細亜大飯店

<http://come.to/asia>



### アジア旅行に役立つ「生の声」

アジア地域を中心に、東はアメリカから西はスペインまで、世界約30か国を旅してきた作者Maig氏による旅のページ。特にアジアで必要となる料金交渉術、地域・国ごとの主に陸・水路による出入国経路情報、各国を訪れたときの体験の日記風のレポートなど、すべてのコンテンツは実際の経験に基づいた実感あふれるものばかり。読者が参加できる掲示板やチャットは熱気にあふれている。

## 勝利へのロングパス

<http://www.stgaia.com/pass/>



### ワールドカップは終わってもサポーターの熱はさめない!

ステーションガイアの「日本サッカー応援サイト」がこのページ。ここではサッカー好きの著名人の応援メッセージや、60分にも及ぶセルジオ越後氏たちのトークバトル、毎週水曜日に更新される、水沼貴史氏などによるコラムをリアルプレイヤーで楽しめる。Jリーグ各チームやサポーター、ワールドカップ関連ページへのリンクも充実している。ワールドカップは終わったけれど、まだまだサッカーは熱いのだ。

## ニッポンチャレンジ オフィシャルホームページ

<http://www.nc2000.co.jp/contents/index.html>



### アメリカズカップに挑戦する日本チームを応援しよう

世界最高のヨットレース、アメリカズカップに挑戦する日本チームのすべてがここにある。1987年のニッポンチャレンジ発足から現在までの軌跡やカップの歴史、クルーの紹介ページやこれまでのレースなどのスナップショットは、ヨットファンにはたまらない。ショックウェーブによるキャンペーンソングを聞きながら、次回2000年2月に開催される第30回アメリカズカップでの日本チームの健闘に夢を馳せてみよう。

## wake Boarding JAPAN ON LINE

<http://www.worth.co.jp/wakeboarding/>



### この夏はウェイクボードでキメる!

ウェイクボーディングマガジン日本語版の公式ホームページがオープンした。日本ではまだ一般になじみがなウェイクボーディング。これは1984年にアメリカで生まれた、サーフボードをボートで引っ張る水上スキーのようなスポーツ。制限時間内にどんなトリックを行えるかを競うものだ。このサイトには関連アイテムやプロ26人の紹介、日本ウェイクボード協会による公式大会のスケジュールなどが掲載されている。

## ホームオフィス・ネットワーク

<http://www.zaitaku.ne.jp/>



### 在宅ワーカーに強い味方が現れた

在宅ワークを希望する人に仕事を紹介する会員制のホームページ。利用にはパソナの会員になるか(登録は無料)がホームコンピューティング・ネットワークのパソコン塾の生徒であることが条件だ。また自分で製作した手工芸品の販売コーナーやリサイクルショップ、ポイント制のアンケートなども用意されている。働きたくても子育てで家を離れられない男性・女性は、一度のぞいてみよう。

## 旅行図鑑TAVIYON(たびよん)

<http://www1.kcom.ne.jp/~tavion/>



### 海外への空の旅をお得に楽しく

KDD コミュニケーションズ提供の、海外への空の旅の情報ページがオープン! 国内外の航空会社の新機航路や新サービス、期間限定のキャンペーンなど、便利でお得な情報で旅行者をサポートしてくれる。「海外便利帳」では、全国の旅券窓口や在日大使館、各国の危険度やベストシーズンなどの情報を揃えている。国内の国際空港の詳細な案内と航空各社の説明、マイルージ情報は役立つぞ。

## FUMi ~ 愛のメール講座 ~

<http://www.nifty.ne.jp/fumi/>



### 愛のメールを投稿して扇子をもらおう!

「ボキャ天」の電子メール版とでもいったらわかるだろうか? 文字だけでもこれだけおもしろいからサスガ。投稿も募集しているので、我こそはと思う人はぜひ挑戦してほしい。なんと、特製の「手拭い」や「湯飲み」、「扇子」がもらえるぞ。さらに、ここで覚えた笑いのテクニックを実際のメールで使えば、人気者になること間違いなし!?

## 自由旅団

<http://www.recruit.co.jp/abroad/ryodan/>



### 旅行に関することならなんでもありのクチコミページ

「夏休みは海外旅行だ!」とプランを練っている人も多いだろう。そんな人はぜひ旅行に行ってきた人の生の声がたくさん掲載されているこのページを見てから出かけしてほしい。たとえば「ころばぬ先のツエツエ蠅」には、イザというときに助かりそうな情報が、「郷に入ってはGO・GO・GO!」には、おもしろい体験談からウラ情報まで、お役立ち情報が満載なのだ!

## Virtual MIDI World '98

<http://www.midi-world.com/>



### MIDIの魅力満載のバーチャルイベントが開催中!

Virtual MIDI World '98は、7月24日まで東京ビックサイトで開催されていた「MIDI WORLD '98」に合わせて、インターネット上で開催されているバーチャルイベント。「MIDIって何?」といった基本的なことから「MIDIサイトコンテスト」まで、MIDIに関する情報が満載だ。このバーチャルイベントは、実際のイベントが終わったあとも8月31日まで開催している。

## Shopping Eye!

<http://ns.clubj.com/shop/>



### 通販サイトを集めた検索サービスが登場

インターネット上のコンテンツを探す検索サービスは数あれど、今回紹介する検索サービスはちょっと変わっている。なんと、インターネット通販サイトの商品を検索するサービスなのだ。「アクセサリ」から「地域の特産品」、「パソコンハード」まで、幅広いジャンルの商品を検索できる。また、「1000円から2000円で買えるワイン」といった検索もできるのが便利!

## 美しきミセスの館

<http://www.dik.co.jp/mrs/>



### 【 結婚生活、姑との関係、ミセスの本音がここにあり！ 】

結婚してから数年もたつと、いろいろな悩みが出てくるものなのだろうか。このページにはミセスと呼ばれる女性たちが抱えている悩み、そして本音があふれている。ちょっとドキッとするような赤裸々々な発言もあるが、男性も知っておいたほうが良いような内容もたくさんある。このページに書かれていることを理解すれば、今まで以上に奥さんと仲良くなれるだろう。

## The Body Care 1998 Summer

<http://www.recruit.co.jp/PRM/summer98/>



### 【 あきらめるのはまだ早い。夏だからキレイをゲット！ 】

「せっかくの夏をいっぱい楽しむためにキレイになろう！」というのがこのページのコンセプト。「家で簡単にカッコー!ボディを目指す」とか「本格的大人向けキレイをゲット!」といったコースがいくつか用意されていて、それぞれの道を進むと企業の広告にたどりつく。広告とはいえ、キレイになるためのポイントがたくさん解説されていて参考なるのだ。

## STRAY SHEEP ポーの階段

<http://www.pix.co.jp/straysheep/top.htm>

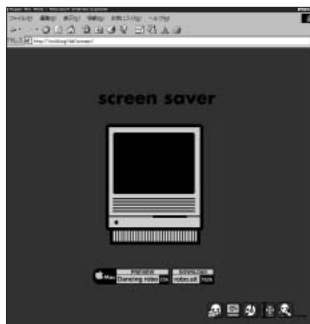


### 【 あのポーがネットミニゲームで帰ってきた！ 】

フジテレビ深夜番組枠の人気キャラクターだったSTRAY SHEEPのポーが、ネットミニゲームで帰ってきた！ その名も愛と感動のスペクタクル超巨編「ポートの階段」。はたしてポーはメリィに逢えるのか？ ゲームは簡単なジャンケンゲームのようなのだが、執筆時にはまだスタートしていなかったため内容は謎。自分の目で感動のエンディングを確認しよう。

## dori dock

<http://mold.org/dd/screen/>



### 【 音で遊べる新感覚ホームページが登場！ 】

「ネットサーフィンもう飽きた!」という人にぜひアクセスしてもらいたいのがこの「dori dock」だ。ショックウェーブフラッシュを使ったコンテンツはとて新鮮で、つい何時間も遊んでしまう。特にウェブ上で演奏できる楽器「sound tool」は、マウスでいろいろなボタンをクリックするだけで気分はもうTKなのだ。フラッシュをインストールして、アクセスしてみよう!

## すまいる

<http://www.sankeisl.co.jp/index2.html>



### 【 生活に密着した月刊情報誌 】

サンケイリビングサークルからの情報「すまいる」がホームページを開設した。更新は毎月20日という月刊誌形式だ。用意されているメニューはトピックス、プレゼント、リンク、SLCイベント、トラベルの5つ。原稿執筆時点は7月号で、トピックスは土用丑の日にちなんだウナギについての雑学。そのほかの各コーナーも生活に密着した情報が多い。

## バンダイビジュアルホームページ

<http://emotion.bandai.co.jp/>



### 【 アニメビデオ情報はおまかせ 】

バンダイビジュアルが扱うアニメビデオの情報ホームページ。「ファーストガンダム」LDボックスから「カウボーイビバップ」まで、最新情報満載。最新作のいくつかはVDO LIVE Playerでプレビューを見ることが出来る。また、アニメのビデオや映画、マル得情報を電子メールで配信する「Digital Beat Press!」の登録受け付けも行っている。

### ニューヨーク近代美術館

<http://www.moma.org/>

素晴らしいトップページ。カラー、タイプグラフィ、ウェブサイトデザインのお手本だ。紹介されている現代美術のコレクションは優れた作品ばかり。そんな中からお気に入りの作品を壁紙にすればたまちポップなマシンに早変わり。オンラインプロジェクトに見られるコンテンツの先進性も、さすがMOMA。



1 【アート】

### 美術館

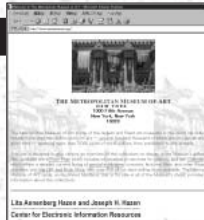
最近、美術館のホームページの充実ぶりを見張るものがある。特にアメリカのものは検索機能やPDFを活用しており、データベースとしてのホームページ作りが進んでいるようだ。

(村井直也)

#### メトロポリタン美術館

<http://www.metmuseum.org/>

収蔵品300万点、展示品150万点もの巨大美術館。訪れた人はそのボリュームに圧倒される。いったいどこから何を眺めたいのか途方に暮れてしまう。そのためサイトではガイド的な役割を持たせ、フロア別にマップでコレクションを紹介している。訪れる前にサイトを見て観覧計画を立てるのも美術館サイトの賢い利用法だ。



#### パリ国立近代美術館(ボンビドゥー・センター)

<http://www.cnac-gp.fr/english/>

文化融合体ともいえるボンビドゥー・センター。サイトも一筋縄ではいかない。膨大な情報量、フレームを駆使した構成、奥深いリンク...。常設コレクションの「メイド・イン・フランス」、前衛的なイベントの紹介、検索機能を持つドキュメンテーションセンターやマン・レイをはじめとした写真コレクションの紹介など内容は多彩。



#### ナショナル・ギャラリー・オブ・アート

<http://www.nga.gov/>

意外に知られていないアメリカの「国立美術館」。おすすめは「ツアー・ザ・コレクション」。画像は大きく、しかもディテールのアップ付き。説明文は英、仏、独、伊、スペインの5か国語がPDF文書で取り出せる。美術館に行く前にカタログが見られたらという願いをかなえてくれる。日本の美術館も、ぜひ参考にしてほしい。



#### ウフィッツ美術館

<http://www.uffizi.firenze.it/>

「ルネッサンス美術の宝宝箱」といわれる世界的な美術館は、そっけないトップページで始まる。しかし、ページを開いてゆくと内容のすごさと量に圧倒される。ポッティチェルリ、ダ・ヴィンチ、ラファエロ...。作者と地域で分類された多くの作品は、画像で見ることができる。中にはQuickTimeVRのファイルも。



#### ナショナル・ミュージアム・オブ・アメリカンアーツ

<http://www.nmaa.si.edu/>

アメリカの美術館のサイトの特徴はデータベースとイベント情報の豊かさだ。「徹底的に利用してもらおう、見てもらおう」という意欲が高く、そのための工夫も凝らされている。アメリカのポスター展覧会の情報は、日本中のデザイナーに見てほしい。ウェブサイトの役割をきっちり理解した作りはさすがインターネットの先進国。



#### プラド美術館

[http://www.mcu.es/prado/index\\_eng.html](http://www.mcu.es/prado/index_eng.html)

一度は行ってみたいけれど Madrid は遠い。そんな人には「クイックツアー」がおすすめ。本館と別館に分けてエル・グレコ、ベラスケス、ゴヤなどの代表的な名品49点が画像とテキストで紹介(英語版あり)されていて、いながらにして美術館のガイドツアーに参加できる。各作品の画像はかなりの大きさまで拡大できる。



#### ウォーカー・アート・センター

<http://www.walkerart.org/>

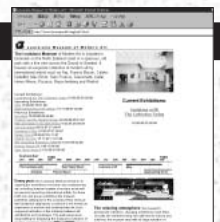
ミネアポリスにある現代美術の野心的な美術館。ホームページも最新のウェブデザインを使った斬新なもの。ロバート・ラウシェンバーグ、フランク・ステラ、ジャスパー・ジョーンズなどアメリカを代表する作家の作品を見ることが出来る。作家の紹介も詳しい。長いテキストデータはプリントアウトして読むのが正解。



#### ルイジアナ美術館

<http://www.louisiana.dk/>

アメリカではなくコペンハーゲンにある美術館。旅に出る前にその地の美術館をインターネットで下調べ、という人も増えてきた。そんなときに参考になる構成だ。展示企画は半年以上先まで紹介。次々に変わる画像を見ていると、白夜の街の美術館でリヒテンシュタインやジム・ダインの大作と向き合う楽しさが伝わってくる。



#### オルセー美術館

<http://www.musee-orsay.fr/>

印象派の作品で有名なこの美術館。サイトでは多くの作品が画像で紹介されている。コレクションのイメージマップがなかなかいい。画像サイズが大きく、作品の細部まで見ることができる。ミュージアムショップもCDなどいろいろあって見ているだけでも楽しい。実際に行ってみたくするサイトの1つだ。仏語は文字化けに要注意。



#### 東京国立近代美術館

<http://www.momat.go.jp/>

日本にもデータベースとしての役割をしてくれる美術館のサイトが出てきた。「所蔵作品検索システム」で知りたい情報を簡単に手に入れることができる。また「展覧会情報一覧」はインターネットの特長を生かした内容。ここから最新の展示会情報が得られる。美術館のサイトはアート情報の発信基地になってほしい。



2 【生活】



## サンフランシスコ観光

旅行といえば「見る」と「食べる」ははずせない。それを調べるには現地の人が発信するサイトを見るのが一番。出かける前のチェックは、インターネットのユーザーにとっては当然だね。

(Saori Kappus)

### Travel Museum / San Francisco

<http://www.x-media.co.jp/TRAVEL/MUSEUM/BOOTH/1SF/>  
X-Media社による「旅の博物館」内にあるサンフランシスコのセクション。博物館の様式で「歴史」「文化」「芸術」などが紹介されている。観光情報とともに、ダウンタウンの「危険地帯マップ」や緊急連絡先などの情報もあり、シヨックウェブでバーチャルツアーを楽しむこともできる。



### Japan Net / San Francisco

<http://www.JPNNET.com/living/atoz/sf.html>  
米国在住日本人の情報交換広場「Japan Net」のサンフランシスコ編。住まいの探し方、車や家具の買い方など、長期滞在に欠かせない生活情報が満載だ。「Mailing Forum」で旅行前に現地友達を作ったり、頻繁に行われる「オフ会」情報で「初めての地で日本人のパーティーに参加」という荒業も可能だ。



### サンフランシスコ 旅の情報写真集

<http://park.coconet.or.jp/sanfran/>  
サンフランシスコに在住の作者が撮影し続けている、膨大な写真集。観光名所に限らず、ダウンタウンの裏通りや隠れた名所、思わぬ夜景ポイントなどが、解説と行き方付きで掲載されている。旅行前の下調べにはもちろんのこと、ちょっとしたバーチャルツアーを楽しむ感覚だ。市内の交通機関に関するコメントも親切。



### Cuciarne's Bay Area Life Page

<http://www.webjapan.com/cuciarne/>  
米国在住日本人のためのプロバイダー「ウェブ Japan」が主宰するサンフランシスコ仲間のページ「クチャーネ」。『食っちゃ寝』の語源通り食ることが好き、そして遊ぶことが好きなメンバーの地元情報サイト。市内のレストランを評価した「クチャーネ御馳走帖」では、日本食情報も豊富。



### サンフランシスコ・ベイエリア案内

<http://www.slac.stanford.edu/~masuda/guide/sf-j.html>  
サンフランシスコ・ベイエリアをこよなく愛する、パロアルト（シリコンバレー）在住の作者による町の紹介。ガイドブックに載っていないスポットを中心に、「ショッピング・ガイド」「ワイナリー案内」など、地元の人ならではの細かいセクションだ。「お役立ちページ」のリンク集にはベイエリアおもしろサイトが満載。



## サンフランシスコ・サンホセ観光局

<http://www1.kcom.ne.jp/travel/>

サンフランシスコ市とサンホセ市のオフィシャルホームページ。観光の見所や気候、交通機関などがわかりやすく紹介されているほか、「最新情報」では時期に応じたイベントやスポーツ観戦情報もアップデート。資料を請求すると、旅の日程や目的に応じたガイドブックや地図を送ってくれるサービスも心強い。



### 佐藤さんちのベイエリア生活ガイド

<http://www.nttca.com/livingguide/>  
サンタクララ（シリコンバレー）に赴任した佐藤一家の経験に基づいた生活ガイド。1冊の本として完結している内容で、在住手続きや子供の教育、税金など、在住者の疑問に答える内容がわかりやすく掲載されている。「第9章 買い物」「第10章 観光/レジャー」「第11章 レストラン」では、子連れ旅行の参考になる情報もあり。



### 地球の歩き方 / シリコンバレー

<http://www.arukikata.co.jp/gio/silicon-valley/index.html>  
サンフランシスコから車で40分ほどの所に位置するシリコンバレーは、コンピュータ関係者にとってはぜひ一度訪れたい場所。旅の友の定番「地球の歩き方」が、シリコンバレー編をオンライン公開している。一般情報や娯楽情報のほかに、「情報の集め方」として役立つリンクを多数掲載。



### San Francisco Chronicle / E-Guide

<http://www.sfgate.com/eguide/>  
地元民にとってイベント情報収集に欠かせないのが、地元紙「San Francisco Chronicle」の日曜版に付いてくる「Datebook」（通称ピンクページ）これをオンライン化した「E-Guide」はアップデートも早く、生の情報が満載だ。在住者はもちろん、サンフランシスコを知りつくした旅行の達人にもおすすめ。



### CitySearch / Bay Area

<http://www.citysearch7.com/>  
地元のテレビ局「ABC Channel7」によって運営されるベイエリア情報サイト。大手のシティーガイドに比べて、地元のニュース源を生かした細かな話題やイベント関連の特集が豊富だ。旅行者を意識したホテルやレストラン情報、アウトドアスポーツ情報、医者や法律家などの検索も可能。



### Yahoo! San Francisco / Bay Area

<http://sfbay.yahoo.com/>  
検索エンジン「Yahoo!」のサンフランシスコ版。ほとんどの店舗や公共機関がホームページを持つ米国都市部では、ディレクトリーも観光情報源として活用できる。各国料理別に分類されたレストランや、地域別ベッド&ブレイクファーストなど、ディレクトリーならではの探し方ができ、地図機能を使えば目的地まで一目瞭然だ。



### 3 【スポーツ】



## バス釣り

大人だけではなく、小学生の間でもブームになっている釣り。なかでも人気の高いバス釣りのサイトでは、アマからプロまで一緒になって盛り上がっている。バス釣り未経験の人もこの機会に始めてみては？ (BTC高橋)

## NBC(日本バスクラブ)

<http://www.outdoor.co.jp/FISHING/CLUB/NBC/NBC.HTM>

来年で15周年を迎える日本最大のバスフィッシング団体。プロへの登竜門のチャプターシリーズからプロシリーズまで幅広くトーナメント活動を行っており、数々のトッププロをこれまでに輩出してきた。あなたも思い切ってトーナメントに出場してみてもいい？ きっと心地よい緊張感と満足感が得られるだろう。



## Super Fishing World

<http://www.superfishing.com/>

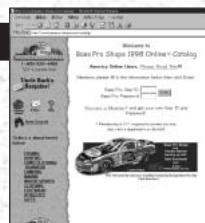
日本最大のコンテンツ量と1日約6000というアクセス数を誇るサイト。ビギナーからベテランまで幅広い支持を得ている。いろいろな問題を話し合うアングラズフォーラムやバーチャルトーナメント、キャラクターを使ったJavaチャット、メガバスカタログのダウンロード、メールニュースなど、盛りだくさんな内容だ。



## Bass Pro Shops

<http://www.basspro-shops.com/catalog/>

アメリカの老舗のアウトドア専門店。バスタックルでないものはないというほど商品が充実しており、とにかく安い!! カタログは400ページにも及ぶ膨大な量で見ているだけでも飽きない。個人輸入をしたことがない人でも日本にカスタマーサービスがあるので安心だ。ルアー1個からバスポートまで、何でも買える。



## Super Fishing Site-X

<http://www.famousdoor.co.jp/sfsx/>

バスフィッシング界のアイドルで、去年結婚して人妻バサーとなった「おおつさん」の日記のコーナーを楽しみにしている人も多いのでは? また、アメリカでプロ活動している並木俊成プロが自らモバイルしてアップロードしているUSAトーナメント転載記事などがある。みんなで応援のメッセージを送ってあげよう。



## Ranger Boats

<http://www.rangerboats.com/>

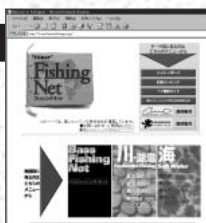
バサーの憧れの的バスポート。スタイル、ステイタス、性能、信頼性などすべての面においてトップのレンジャー。1968年に創立し、71年に火事で全焼したにもかかわらず、以来30年にわたってバスポートメーカーのトップを維持してきた。製作工程のほとんどを手作業で行い、職人気質にあふれている。いつかはレンジャーを.....



## TORAY Fishing Net

<http://f-net.torayfishing.co.jp/>

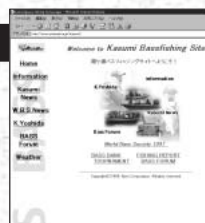
バスコーナーでは東レソラロームチームのプロ集団があなたの質問に懇切丁寧に答えてくれる。開設以来好評で、たまにサーバーがダウンするほどの盛況ぶり。特に最近で来た今江克隆プロのコーナーはこれからの目玉になるだろう。まだ工事中だが、これからどんどんシークレット情報を公開していく予定とのことだ。



## Kasumi Bassfishing Site

<http://www.aisinnet.ne.jp/kasumi/>

関東の雄、霞ヶ浦から情報を発信しているサイト。交通情報やポイントマップはとてよくできていてわかりやすい。また吉田幸二氏の主宰で霞ヶ浦を拠点に独自のトーナメント活動をしているW.B.S.(World Bass Society)のトーナメント結果も随時更新されているので、霞ヶ浦に行く前にはチェックしよう。



## 河口湖漁業協同組合

<http://www.mfi.or.jp/w3/home0/kgkk/menu.html>

河口湖漁協が送る河口湖総合情報。近隣の宿泊施設や店、ボート屋などのガイド、年間のイベントスケジュールポイントマップ、毎日更新の今日の河口湖、放流情報、JB戦の速報など初めて河口湖に行かれる方は、ぜひチェックしよう。また「ダークサイド of 河口湖」では、現在の河口湖の問題点などを取り上げている。



## JBROS

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~jbros/>

数あるバス関連のサイトの中でも、異色中の異色サイト。フォーラムがメインで、本音トークで話せる。ウェブマスターの「へどどん」さんによる辛口トークで、軟弱な意見はバサリ切られてしまう。しかしこの常連たちは真剣にバスフィッシングについて考えているのでドンドン投稿しよう。琵琶湖情報も早い。



## Gary YAMAMOTO Custom Baits

<http://www.yamamoto.baits.com/>

バサーなら誰でも一度はお世話になったことがあるゲーリークラブ。ときには最後の切り札、ときにはバイロトルアーツ、日本のバス創生期からバサーから絶大な信頼を得ているワームだ。残念ながら英語だけだが、新製品情報は当然日本より早いので要チェックだ。また100種にも及ぶカラーチャートもすべて見ることができる。



## ALL BASSER'S INDEX

<http://www.superfishing.com/takahasi/>

今回のサイト紹介をした私(BTC高橋)のホームページ。バスサイトのリンク集だが、国内のほとんどのバスサイトをまとめており、6月23日の時点で420以上のサイトをリンクしている。五十音順、地域別などいろいろな方法で分類しているので、検索しやすいと思う。今回紹介しきれなかったサイトもここから利用してほしい。





4 【社会・経済】

## 金融ビッグバン

金融ビッグバンの動向を探るサイトと、ビッグバン時代に必要な情報武装をするためのサイトを、情報量の豊富さ、更新頻度の高さで選んでみた。フリー・フェア・グローバルな時代とは何かを考えてみよう。  
(上田 尚)

### 酒井税理士事務所 HOME PAGE

<http://www.ocjp.com/user/sakai/>

国際税務の第一人者である酒井文郎氏のサイトでは、オフショア関連の情報をもとより、改正外為法に関する税金の問題などを含めてビッグバンの関心事をまとめている。酒井氏は外資系金融機関の顧問などをしており、今後、日本の個人・企業の国際化が進むにつれて課題となる分野をカバーしている。



### タックス・ヘイヴンを使った投資・節税・事業・資産管理手法

<http://www.users.dircon.co.uk/~mmcridge/>

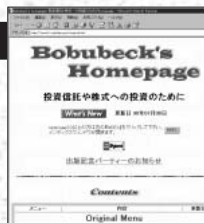
積極的にオフショアを利用しようという今津雅夫氏によるサイト。氏は、イギリスのマン島に本拠を置き、国際的な資産運用のアドバイスなどを行っている。タックス・ヘイヴンについての日本人の誤解を解き、なおかつ安易な海外投資による危険性も指摘し、オフショアについて詳しく解説している。



### Bobubeck's Homepage

<http://www.k-uchida.com/main.shtml>

最近関心の高まっている投資信託についてのわかりやすい入門コラムや、日経平均225先物の前後場のデータ及びチャート、会議室などに加えて、投資についての関連リンクも充実している。積極的にビッグバンに対応しているという人は、活用したいサイト。



### なべさんのホームページ「ビッグバン」

<http://plaza29.mbn.or.jp/~kw2263/bigban.htm>

ビッグバンについての幅広い情報を提供している。ビッグバン関連で関心の高まる金融商品について、その内容を比較一覧したり、解約などの方法や購入時期などについての知識も習得できる。毎週更新される「今週のマーケット予想」もおもしろい。



### Clifford Investment

<http://www.ss.ij4u.or.jp/~clifford/>

「責任は負わない」と断言しているものの、極論を展開するのではなく、きわめて冷静な見識を披露しているコラム。投資理論など、次のステップに踏み込もうという人にはおすすめの世界が展開。日記式の「ファンドマネージャーの独り言」は、投資の話ばかりではなく、楽しめる。



## BenkeiUSA Home Page

<http://www.BenkeiUSA.com/>

ニューヨーク在住の荒井拓也氏が、米国株のおもしろさと、企業評価の方法、推奨銘柄などについて専門的に紹介。改正外為法施行で、海外投資も自由になった日本から、インターネットを利用して米国株の取引を行う時代になった。グローバルな投資を体感するには、まず訪れてみるべし。



### 歌右衛門のホームページ

<http://www2.nkansai.or.jp/users/ken/>

投信、株式に加えて為替、経済統計、そしてビッグバンまでカバーしているリンクは使い勝手がよい。素早く検索し、求める情報に到達したい場合に便利。日本はもとより、米国、英国の情報源も網羅。入門からプロまで対応している。オリジナルチャートなども。



### Bloomberg Japan: Welcome to Bloomberg Japan

<http://www.bloomberg.com/jp/jphome.html>

金融情報で有名なブルームバーグ。その日本語サイト。現在のところ無料で読める。ニュースや金融情報がコンパクトにまとめられているので、毎日チェックしたい。記者の息遣いを感じるような記事に出会うこともある。なお、各国のブルームバーグサイトへも接続している。休日以外はほぼリアルタイム更新。



### ComTrack

<http://com.navi.ntt.co.jp/>

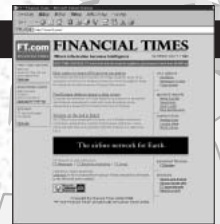
日経BPとNTTの共同による情報源。株価などの市況はもちろん、企業情報などへのアクセスが配慮されている。また、日経BP発行の雑誌からヘッドラインなどをピックアップして速報的に掲載している。金融ばかりではなく、ビジネス、就職などに活用できるサイトだ。



### FT.com - the Financial Times on the ウェブ

<http://www.ft.com/>

ビッグバンはグローバル・スタンダードを求められる。英語に抵抗ない方は、ぜひこのサイトの活用をおすすめしたい。現在のところオンラインサインアップが必要だが、無料で30日前までの記事検索も可能。日本についての記事も多いが、そのスタンスや扱い方などを知ると、国際感覚が磨けるかも。



### ビッグバンで行こう

<http://www2b.meshnet.or.jp/~masuyan/>

毎週日曜午後更新の週刊誌風サイト。1週間に起きたことや話題になったことをピックアップして、ビッグバンの視野(?)で位置付けを試みる。今後の日本版ビッグバンの行方を追うのが趣旨だが、その一方で、初心者向けコラムやQ & Aなどで解説。ときどきアンケートなども実施している。



INTERNET  
YELLOW  
PAGES

PAGES

### 5 【グルメ】



## ビール

仕事帰りに、スポーツのあとに飲むビールがたまらない季節になってきた。あの黄金色とクリーミーな泡を思い浮かべながら今回紹介するページを見て楽しんでほしい。下戸の読者の皆さん、すみません。

## 日本地ビール協会 地ビールニュース

<http://www2.meshnet.or.jp/~jcba/>

ビールの小規模醸造が解禁されたのが1994年。それから数年のうちにたくさんの地ビールが登場した。この「日本地ビール協会」は、地ビールをより楽しく味わえるようにするためにさまざまな活動を行っている。このページには、日本各地の地ビールについての詳しい情報やビールイベントに関する情報が掲載されている。



### 地ビール商店街

<http://j-beer.com/>

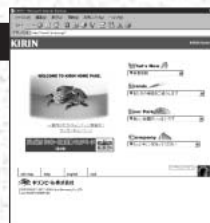
旅行に行ったときに「その土地の地ビールが飲みたい」と思ったらこのページにアクセスしてみよう。「全国の地ビールレストラン紹介」のコーナーには、それぞれの店で飲めるビールの名前と問い合わせ先が載っている。写真や地図もあつたらと思うが、それは今後に期待しよう。「地ビール川柳」といった楽しいコーナーも必見!



### キリンビール

<http://www1.kirin.co.jp/>

ラガービールや一番絞りでおなじみのキリンビールのオフィシャルページ。おすすめは「Beer Park」の「フルフリーツアー」のページ。要するに工場見学の情報が載っているページだ。意外に見学できる工場が多いのに驚くはず。夏休みは工場見学をして、できたてのビールを浴びるほど飲む! なんてプランはどうだろう。



### Local Beer

<http://okhotsk.or.jp/~beer/>

このページは、地ビールを飲む人が見るページというよりも、「自分で地ビールを作りたい!」と思っている人のページだ。ビール製造免許の申請の仕方から、地ビールを作るのに必要な材料や機材を取り扱っている業者の問い合わせ先まで、幅広い情報が提供されている。これで自分だけのオリジナルビールが作れる!?



### アサヒビール

<http://www.asahibeer.co.jp/>

スーパードライで世界的に知られるアサヒビールのオフィシャルページ。おすすめは「グッズ販売」のページで、黒生を持った犬のぬいぐるみやスーパードライをかたどったカッコイイZIPPOライターなどを販売している。珍しいビールで作った「黒生ようかん」なんてものまである。ビールのおつまみに最高!?



### ビアクラブショップ

<http://www.threeweb.ad.jp/~bcjkobe/>

世界中の手作りビール用品や材料を扱っている専門店だ。もちろん、ウェブから注文することができる。今までの手作りビールキットでは物足りないと思っている人は、アクセスしてみよう。イギリス、ベルギー、オーストラリア、ドイツといった国々のモルト缶がずらりと並んでいるので、どれにしようか目移りしてしまいそうだ。



### ハイネケン

<http://www.heineken.co.jp/>

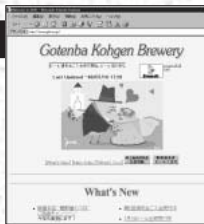
グリーン缶が印象的なハイネケンのオフィシャルページ。ハイネケンオリジナルのスクリーンセーバーやカレンダーがダウンロードできるほか、ビールと合う世界各国の料理のレシピが紹介されている。休日に、メキシコ料理やアラブ料理をじっくりと時間をかけて作って、ビールで乾杯、なんていいと思いませんか?



### 御殿場高原ビール

<http://www.GKB.co.jp/>

富士の雪解け水で作られたという「御殿場高原ビール」を販売しているページ。ビールだけでも買えるが、生ハムや牛肉ビール煮とセット販売もされている。こっちは美味しそうだ。インターネットで買うことに不安がある人のために、詳しい購入ガイドが用意されていて親切。ソネットのSmash決済にも対応している。



### バドワイザー ジャパン

<http://www.budweiser.co.jp/>

ワールドカップ98フランス大会のオフィシャルスポンサーだったバドワイザーのオフィシャルページ。このページにもバドワイザーとサッカーの歴史が詳しく解説されていて、読みごたえがある。ほかにも、リニューアルした「バドの飲めるお店」のコーナーや、新製品「和風ラベルバドワイザー」のコーナーなど盛りだくさん!



### ひでじビール

<http://www.mmjp.or.jp/hideji-beer/>

コロラドで開催されたワールドビアカップの日本代表の一品として選ばれた「ひでじビール」のページ。このページから購入することもできるが、宮崎県にある「ひでじのビール村」に行くと、ひでじビールに合った料理と一緒に、作りたてのひでじビールも飲めるという。この料理がまたおいしそうなのだ。



### WORLD BEERS

<http://www.bekkoame.or.jp/~sch0144/>

「いろいろなビールを飲みたいけど、近くの酒屋には売ってない!」「世界中のたくさんの銘柄を少しずつ楽しんで飲みたい!」といった要望から誕生したというこのページ。さすがに、このページで扱っているビールの種類の豊富さには圧倒される。しかも安いときているからたまらない。あれもこれもと買いたくないように注意しよう。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)